

「学校安心ルール」(西船場小学校)

＜基本的な考え方＞

- 学校安心ルールは、学校生活における大切なルールを明示することにより、子どもたちが安心して生活できることをめざし、その達成に向けて主体的に取り組むことを目的として作成しました。
- 子どもたちには日頃より、基本的なルールに示されたことがらにそって生活できるよう伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会（学校）」をめざしていきます。
- 第１～３段階の基本となるものは、『体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。

対応 段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な 約束ごと	・嘘をつかない ・ルールを守る ・人に親切にする ・勉強する				
第1段階	・授業時間に故意におく れてくる	・からかう、ひやかす ・無視する ・物をかってに使う	・指導を素直に聞かない ・指導を無視する	・物を大切にしない ・自分の机等に落書きする	・その場で注意（個別に話をする） ・場合によっては家庭連絡
第2段階	・授業のじゃまをする ・授業に関係のない話を する	・仲間はずれにする ・悪口、かげ口を言う	・からかうや、ひやかすも 含め、指導に対して反抗 したり、挑発的な態度を とったりする ・バカにしたようなことを 言う	・学校の物をこわす ・学校の物をかってに使う ・カードやゲーム等で賭け ごとをする	・その場で注意 ・家庭連絡 ・複数の教職員による個別指導 ・自己を振り返る活動
第3段階	・授業中、故意に妨害をす る ・テストのじゃまやカンニ ングを繰り返す ・授業をエスケープする	・いやがることを無理やり させたり、こわがるよう なことをしたり言ったり する ・物を故意にこわしたり、 すてたりする	・指導に対して激しく反抗 する ・こわがるようなことをし たり言ったりする ・押したり、突き飛ばした り、ぶつかったりする	・万引きなど法律に違反 するようなこと ・夜中に出歩き徘徊する	・家庭連絡 ・別室における個別指導及び学習指導 ・関係諸機関（警察・こども相談センタ ー）と連携し、学校内で指導を行う。
	第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為などについては、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議する。				

＜ルール表作成上の留意点＞

- ※性格、学力、体力、家庭環境（生活背景）、生育歴などは、子どもたち一人ひとりによって全く違います。また、その日の体調や精神状態によっても表出される行動や態度は違います。本校では、子どもたち一人ひとりの様子を把握し、子どもに寄り添い、家庭や地域の皆様とも連携を密にしながら、その子の状況に応じた指導を展開していきます。
- ※「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも例示であり、学校の判断で対応することがあります。
- ※子どもの思い、保護者の願いを受け止めるよう、保護者との連絡を十分にとります。
- ※必要に応じて、教育委員会、区役所、こども相談センター、西警察署、関係諸機関と連携して対応していきます。